

サンフレなど地元4チームの色に着目

「紫」の観光バスツアー

サッカーJ1サンフレッチェ広島の本拠地である広島市の「紫」に着目した観光バスツアーが28日、県内で開催される。広島三次ワイナリー（三次市）の見学やサンフレの公式戦観戦を盛り込んだ内容で、県立広島大（広島市南区）と広島大（東広島市）の学生が発案した。県内の観光とスポーツ振興を色で結びつけたアイデアは学生コンテストで高い評価を受けている。学生は「色を通じて県内の魅力をもっと知ってほしい」と呼びかけている。（加納亜弥）

県立広島大の和田素教授のゼミでまちづくり論を学ぶ4年河野望央さん（21）、佐々木こうさん（21）、山本実莉さん（21）と、広島大の3年西谷壮一郎さん（20）が組んだ。4人は県内のプロスポーツのチームカラーを連想させる県内の観光拠点を巡り、最後は試合観戦で締めくくるとバスツアーを提案。小学生向けの遠足や修学旅行プランを作ろうと考えた。

選んだ色は4色でサンフレの紫の観光づくりコンテスト2021 ニュ

5月28日（土）「紫編」の行程

午前9時	JR広島駅新幹線口（広島市南区）をバスで出発
↓広島インターチェンジ（IC）～三次IC	
10時半～11時20分	広島三次ワイナリー
↓三次IC～西風新都IC	
午後0時20分～0時50分	川中醤油（安佐南区）で買い物
↓	
0時55分～4時半	エディオンスタジアム広島（安佐南区）で試合観戦
↓	
広島高速4号線を経由 建設中のサッカースタジアムを車窓から見学	
5時	JR広島駅新幹線口到着

プロスポーツのチームカラー4色にちなんだ観光コンテンツの一部（案）

紫	神ノ倉山の藤棚（広島市安佐北区）、向原ササキ（府中市）、三島食品「ゆかり」（広島市）
赤	奥田元宋・小由女美術館（三次市）、三原たるま工房（三原市）、倉橋お宝とまと（呉市）、古江イチジク（広島市）
緑	福王寺の金亀池（安佐北区）、まちなみ竹工房（竹原市）、狩留家ナス（安佐北区）、観音ネギ（西区）
朱	みかんメッセージ館（呉市）、鞆の浦の常夜灯（福山市）、八天堂カフェリエ（三原市）、蜂蜜（神石高原町）

28日 県立広島大生・広島大生 観戦付き発案

「1ノーマルステージ」の優秀賞を獲得。佐々木さんは「地域が誇る特産品を知ることが郷土学習につながるし、子ども頃からプロスポーツになじむきっかけにもなる」と話す。

4色のうち、紫編は県立広島大とサンフレが包括連携協定を結んでいることなどから話が進み、たびまちゲート広島（中区）が大人も対象にしたツアーを組んだ。参加費は大人3千円、小中高生2千300円。サンフレ元選手で解説者の中島浩司さん（44）も同行する。他の3色のツアーについて和田教授は「紫編の結果をみて実現できるかどうかを検討したい」としている。

紫編の問い合わせは同社082（543）2102（日曜 祝日除く）。ホームページからも予約できる。



プロスポーツのチームカラー4色をテーマにした観光ツアーを発案した県立広島大の河野さん（左）と佐々木さん（右）、指導した和田教授